

発行月日 平成22年4月15日

〒238-0026 神奈川県横須賀市小矢部2-14-1

<http://shunko-gakuen.jp/index.html>

社会福祉法人 児童養護施設 春光学園

☎046-851-2362

FAX046-851-2332

新しく 高等学校・中学校・小学校・幼稚園へ



今年も新たに聖心第三幼稚園へ5名、衣笠小学校へ5名、衣笠中学校へ3名、坂本中学校へ1名、海洋科学高等学校へ2名、平塚農業高等学校初声分校へ1名、横浜修悠館高等学校へ1名、岩戸養護学校高等部へ3名の子ども達が入園・入学し、全員、期待と夢をふくらませた幼稚園・各学校生活をスタートしました。又、今回も新小学1年生に読売巨人軍の内海哲也選手と株式会社ニトリ様よりランドセルの寄贈、新中学1年生に上町今関商店様より

各自に学生服の寄贈、柳屋衣笠店様より各自に学校指定体操服一式の寄贈がありました。新小学1年生、新中学1年生の子ども達は大喜び、寄贈された皆様の気持ちに応える様に勉強・スポーツに励む事でしょう。ありがとうございました。



吉田横須賀市長 春光学園視察

横須賀市の吉田市長が3月11日に春光学園に視察に来園されました。園長より春光学園の現状と改修計画の説明を行いました。その後、園内を見学して頂き学園の幼児ともふれあい、春光学園の置かれている現状を理解して頂きました。



社会福祉法人 春光学園

新理事長 森田常夫氏 就任

理事長の岡本経世氏が退任し、新たに元横須賀市助役、森田常夫氏が新理事長に就任しました。森田新理事長の元、気持ちを新たに理事会と職員一丸となって児童福祉事業を推進していきます。



安心子ども基金

1階廊下改修工事 完了

2月に国の「安心子ども基金」を受けて、補修の跡だらけで恥ずかしい思いをしていた1階廊下改修工事を実施し、完了しました。明るくきれいになった1階廊下を長く保っていく様にしたいと思います。

神奈川県遊技場協同組合様
神奈川県福祉事業協会様より

10人乗りワンボックス車 寄贈

神奈川県遊技場協同組合様・神奈川県福祉事業協会様より10人乗りのワンボックス車の寄贈があり3月25日に納車されました。以前に使っていた車は排ガス規制で使用出来なくなり、その後は野球の練習試合や行事の時に不便な思いをしていましたが、今回の寄贈により不便な



思いを解消でき、大活躍する事でしょう。子ども達や職員には長く使用出来る様に大切に扱う様に指導していきます。

神奈川県遊技場協同組合様・神奈川県福祉事業協会様には夏のポリシヨイサーカスの招待や色々の物品の寄贈でもご支援をいただいております。今回の車両寄贈を含めて、ご支援ありがとうございます。

各学校卒業・卒園式 行われる

3月6日に神奈川県立平塚農業高等学校初声分校、3月12日に横須賀市立衣笠中学校・坂本中学校、3月17日に聖心第一幼稚園、3月18日に横須賀市立衣笠小学校・聖心第三幼稚園の卒業式・卒園式が行われ、学園の高校生1名、中学生10名、小学生7名、幼稚園児6名が、卒業・卒園しました。

卒業後は社会人として就職したり、家庭に引き取られ進学したり、学園より各高校・中学校・小学校に進学したりと様々ですが、皆、頑張ってくれる事と期待しています。

春光学園 卒業卒園式

3月12日に在日米海軍横須賀基地 NAVFAC マクレーン司令官様、横須賀市児童相談所伊作所長様をはじめ各児童相談所職員様、その他、日頃学園に対して支援していただいている方々を来賓としてお招きして「平成21年度春光学園卒業卒園式」、夕方からは「卒業生を送る夕べ」を行いました。

「春光学園卒業卒園式」ではマクレーン司令官様・伊作所長様、来賓の皆様からお祝いや励まし、卒業記念のプレゼントを頂き卒業生の子も達は感激していました。御出席して頂いた皆様、本当にありがとうございました。

尚、毎年の卒業卒園式を飾っているお花は久里浜の小沢様がボランティアで行って下さっています。おかげ様で卒業卒園式を華やかに行う事が出来ました。ありがとうございます。

夕方から行われた「卒業生を送る夕べ」では卒業生の為に子ども達それぞれが趣向を凝らした出し物を披露し卒業生との最後の一夜を楽しく過ごしました。



(社)日本中国料理協会 湘南支部様

煌蘭招待

4月1日に(社)日本中国料理協会湘南支部の会員の方々が今年も横須賀中央「煌蘭」において中華フルコース料理の招待をして下さいました。毎年、新入学のお祝いとして続いている招待ですが、今年も会員の方々が煌蘭に集まり調理場で腕をふるってくれました。子ども達も年に一度の中華フルコースをお腹一杯食べて満足した様子。毎年の招待ありがとうございます。



横浜F・マリノス サッカー招待

3月13・20日に横浜の日産スタジアムで行われた横浜F・マリノスの試合に招待され学園の子ども達が観戦してきました。両日ともとても迫力のある試合で最後まで目が離せませんでした。ご招待、ありがとうございました。

米海軍横須賀基地サリバンスクールの皆様

学園慰問

1月30日に米海軍横須賀基地のサリバンスクールの生徒の皆さんが副校長先生達に引率され春光学園の慰問に来園されました。たくさんのプレゼントを学園の子ども達に渡し、その後は園庭において一緒にボール遊びやキックボードに乗って遊びました。米海軍横須賀基地サリバンスクールの皆様、ありがとうございました。



紙芝居 慰問

2月27日土曜日に紙芝居の佐藤守さんが来園し、今回も皆に紙芝居をおこなって下さいました。紙芝居に大笑いしたり手品にビックリしたりと楽しい一時を過ごしました。毎回の慰問、ありがとうございます。

ムーブ様・衣笠地区社協様

人形劇 慰問

3月27日にムーブの方々と衣笠地区社協の民生児童委員・主任児童員の方々が今回も人形劇の慰問に来て下さいました。毎回の面白い人形劇に子ども達は大笑い、又、一緒にゲームをして交流も深めました。毎回の慰問、ありがとうございます。



あすなろ交歓会・作品展

2月7日に県立青少年センターにて児童福祉施設あすなろ交歓会・作品展が開催され、春光学園の子ども達も参加しました。あすなろ交歓会の出演は2年に一度の為、今回は見学となりましたが、他の施設の演技を子ども達は真剣に見学していました。作品展では絵画・工作・書道に出品し、幼児年長年中の共同工作作品がポーラ美術館長賞、その他の子ども達の作品でも銅賞を12個も取る事が出来ました。



送別 マラソン 頑張る



1月16日に横浜こどもの国の外周コースで行なわれた神見研卒業生送別マラソン大会では、寒い中での毎日の練習の頑張りの結果、学園の子ども達も自己記録を更新したり、又、全員完走する事が出来ました。今回は入賞を逃しましたが次回の児童福祉施設駅伝大会・神見研卒業生送別マラソン大会では良い報告が出来る事を期待しています。

三浦国際市民マラソン参加

3月7日、あいにくの雨の中で行われた三浦国際市民マラソンに学園の子ども達・卒園生が参加しました。三浦の丘を巡るアップダウンの多いコースで、しかも雨の中でのマラソンでしたが、全員頑張って完走しました。来年も練習に励んで、参加したいと思います。

立正佼成会様 節分豆 寄贈

節分に毎年恒例の立正佼成会様からの節分豆の寄贈がありました。子ども一人一人に袋に入った豆と飴、それとご縁がありますようにとピカピカの五円玉。毎年の寄贈ありがとうございます。尚、節分では春光学園に赤鬼と青鬼の二匹の鬼が現れ、金棒を振り回し暴れまわりましたが子ども達が一生懸命に豆で追い払い、鬼を退散させていました。



寄付金

家庭教師ニュースマイル様（代表者 堀 遼一様）より寄付金がありました。大学生がグループで家庭教師を行っていたのを卒業で会を解散した余剰金だそうで、学園にとっては貴重な寄付で計画中の春光学園改築費用に当てさせていただきます。ありがとうございました。

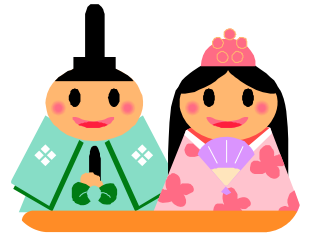
長井の小島農園様より 野菜の寄贈

長井の小島農園様よりたくさんの新鮮なキャベツや大根の寄贈がありました。子ども達の食事の材料に使用させていただきました。ありがとうございました。



近隣の松本様より ひな祭りのお花寄贈

今年も近隣の松本様よりひな祭りにお花の寄贈がありました。松本様からは学園創設時より何十年も物心両面にわたりご支援を頂いており、お花もひな祭りだけでなく子どもの日・卒業卒園式に寄贈があり、学園の雛人形や仏壇に飾っています。毎回のご支援ありがとうございます。



こんな事もやっています

いつも招待・慰問・寄贈等、地域の皆様の支援を受けている春光学園ですが、地域の皆様の善意を受けるだけでなく、少しでも地域に貢献できないかと数年前より缶のプルトップ・ペットボトルのキャップ集めを行っています。今では学園の子ども達・職員だけでなく保護者の方々も収集に協力して下さる様になり、毎月のように集まったプルトップを衣笠小学校へ、キャップは衣笠病院へ持って行き、車いすの購入やワクチンの購入費用の手助けをしています。



春光美術館



子ども達の作品です

新しく職員が加わりました

氏名：鈴木 香織

家庭支援専門相談員～入退所等の家庭調整及び里親関係の仕事を行います。
就職にあたって～以前、女子寮で働かせて頂いておりましたので、大きくなった子どもたちにまた会えて、嬉しいです。直接子どもたちと関わる機会は減ってしまいますが、色々な形で携われたらと思っております。

氏名：遠藤 真弥

指導員～男子寮にて子ども達の生活を援助しています。
就職にあたって～東北は福島県の会津若松の出身です。趣味は温泉に行く事です。
子ども達と毎日元気に笑顔で生活していきたいと考えています。どうぞ、よろしくお祈りします。

氏名：近江 洋美

看護師～子ども達の健康管理や通院の付き添い等を行います。
就職にあたって～看護師生活23年。色々な経験の中で、健康面を通して子ども達が生きて行く事に関われたらうれしいと思うようになりました。よろしくお祈りします。

衣笠歳時記 その④

春光学園長 小林 秀次

3月は旅立ちの季節。

この春、学園では、幼稚園、小学校、中学校そして高校を卒業する子どもが14名、家庭に復帰する子どもが11名、社会的に自立する子どもが2名と、例年のない大きな動きがありました。同時に、このことは様々な子ども達の新しい旅立ちや出発があったことを意味します。希望に胸が膨らむことが多いのですが、全てが明るいというわけにはいきませんが、中学校を卒業した10名の子どもは高校進学を目指しました。県立高校は次第に厳しさが増しており、前期選抜で合格したのは1名のみと、昨年度以上にハラハラさせられました。1名が不合格となりましたが、いきなり社会的に自立する力が無いため、苦肉の策として、通信制の高校を選択せざるを得ませんでした。3名は将来の自立を視野に養護学校を選択しましたが、良い結果に繋がって欲しいものです。学園の子ども達を見ていると、15の春にいきなり前途が閉ざされてしまうような見通しの持てない事例が増加してきているように思えてなりません。

この2年ほど、学園では、児童相談所と協働して家族再統合の課題に取り組んできました。取り組みの結果として7名の子ども達が家庭に復帰しました。幼児寮からは、3名のかわいい女の子が退所しました。それぞれ復帰まで要した期間に1年から5年と差がありますが、子どもと親御さんは不安を一つ一つ解決しながら、随分と頑張られました。子ども達と職員の見送りを受け、涙にくれる親御さんに抱かれて、何時もと違う様子に表情を固くしている子等に幸多かれと祈るばかりでした。支えてくれた多くの方々に感謝します。それにつけても、見送る側の子ども達の心情を思う時、いつも複雑で胸が熱くなるものがあります。

学園歌は、創立者である樋口宅三郎さんが作詞、矢島佐可枝さんが作曲したのですが、戦後の混乱期の作品であるためか、曲調がいささかさみしい印象でした。この3月、プロの音楽家である木村宇志先生にアレンジしていただき、リズムカルで明るい曲調に生まれ変わりました。これからも歌い継いでいきます。

3月も押し迫った時、「ニュースタイル」という家庭教師の会の代表である堀さんから、大学を卒業するので会を解散することになり、多少の残金が出たので寄付をしたいという申し出がありました。3名で来園され、少なくともときりに恐縮されるのですが、30万円を超える金額にびっくりしました。5名の大学生で立ち上げた会とお聞きしましたが、2名の方は教師になるとのことでした。素晴らしい日本の若者に会うことができ、久し振りに大きな感動と明日への希望をいただくことが出来ました。

3月も押し迫った時、「ニュースタイル」という家庭教師の会の代表である堀さんから、大学を卒業するので会を解散することになり、多少の残金が出たので寄付をしたいという申し出がありました。3名で来園され、少なくともときりに恐縮されるのですが、30万円を超える金額にびっくりしました。5名の大学生で立ち上げた会とお聞きしましたが、2名の方は教師になるとのことでした。素晴らしい日本の若者に会うことができ、久し振りに大きな感動と明日への希望をいただくことが出来ました。



ボランティア 募集

春光学園では、子ども達の為に色々なボランティアを募集しています。あなたもボランティアをしてみませんか？

◎学習ボランティア

小中学生の勉強 時間 17:00～

◎幼児のボランティア

遊び・掃除・洗濯・縫い物など

◎遊びのボランティア

小学生を中心に遊んでいただける方 曜日・時間については相談の上

【問い合わせ】

◎春光学園 児山 〒238-0026 横須賀市小矢部 2-14-1

☎ 046-851-2362 FAX 046-851-2332

